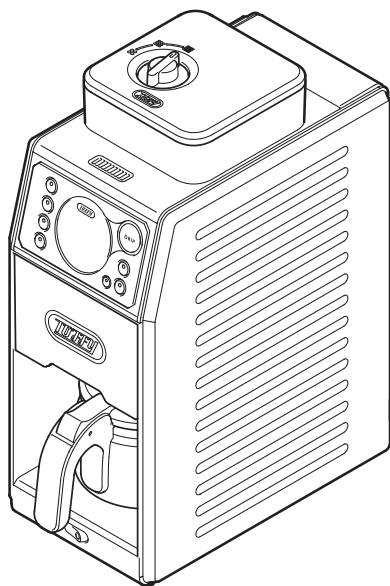




全自動ミル付カスタムドリップ コーヒーマーカー

品番：K-CM9

家庭用



もくじ

安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
各部の名称	6
使用前の準備	8
部品の取り付け・取りはずし	10
使い方	12
クリーニングモード	20
お手入れのしかた	23
エラー表示の見かた	25
故障かなと思ったら	26
製品仕様	28
保証書	28

ユーザーズガイド


このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。


LADONNA

安全上のご注意


●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）


本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

 **警告** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。


 **注意** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。


●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。

 してはいけない「禁止」内容です。


 必ず実行していただきたい「強制」内容です。

■電源プラグ・電源コードについて

 めれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。


 **警告**
電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。
火災や感電の原因となります。


電源コードや電源プラグが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・火災の原因となります。

 交流 100 V・定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。


電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発火の原因となります。

電源プラグにホコリが付着している場合はふき取る。
ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショートや火災の原因となります。

 使用后、本体が十分に冷める前に、電源コードを巻き付けない。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

 **注意**
電源コードは、本体の下を通したり、温度の高くなる部分に近づけたりしない。
電源コードの損傷により、感電や火災の原因となります。

使用直後は、電源コードを熱い保温プレートの上に乗せない。
コードが破損し、火災や感電の原因となります。

 使用時以外は、電源プラグをコンセントからはずす。
火災・やけど・本体故障の原因となります。

電源プラグを抜くときは必ず電源プラグを持って引き抜く。
感電やショートの原因となります。

電源コードはすべてほどいて使用する。
電源コードを巻き付けたまま・束ねたまま使用すると、火災や感電の原因となります。

■ 本体の取り扱いについて



分解・改造はしない。
火災・感電・けがの原因となります。

本体にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。
異常動作してけが・感電・故障の原因となります。

本体を水につけたり、水をかけたりしない。
火災・ショート・感電の原因となります。

本製品は室内専用です。屋外では使用しない。
火災・故障の原因となります。

水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない。
ショート・感電・故障の原因となります。

専用のガラスポット以外は使用しない。
発火・故障・やけどの原因となります。

使用直後の熱い保温プレートの上にガラスポット以外のものをのせない。
火災・けがの原因となります。



ガラスポットを直接火にかけたり、電子レンジで加熱したり、硬いものにぶついたり、急激に冷やしたり、他の機器で使用したりしない。
割れて、火災・けがの原因となります。

使用中や使用直後は蒸気口や保温プレートに触ったり、手や顔を近づけたりしない。
けが・やけどの原因となります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。
感電・けが・やけどの原因となります。

カーテンなどの可燃物の近くで使用しない。
火災の原因となります。



異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用を中止する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

警告



本製品は一般家庭用です。業務用として使用しない。
火災や故障の原因となります。

使用中や使用後しばらくは、高温部には触れない。
やけどの原因となります。

落とす、ぶつけるなど本体に強い衝撃を与えない。
故障・破損・けが・感電の原因となります。

使用中は本体を移動させない。
やけど・火災・故障の原因となります。



不安定な場所や熱・水気・振動に弱いところで使用しない。
けがや火災の原因となります。

直射日光が長時間あたる場所で使用しない。
故障・変形の原因となります。

破損や変形があるときは絶対に使用しない。
感電・けが・故障の原因となります。

熱源・火気の近くで使用しない。
火災・変形・故障の原因となります。

注意

安全上のご注意 (続き)



壁や家具の近くで使用しない。
熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因となります。

お手入れをするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは絶対に使用しない。傷がついたり、変色・変形・故障の原因となります。

本体の上や下に燃えやすいものを置いたり敷いたりしない。火災の原因となります。

ガラスポットをのせたまま、本体を動かさない。
破損・やけど・けがの原因となります。

ミルのお手入れは必ず付属の掃除用ブラシを使用し、豆挽き部の刃に触れない。
けがの原因となります。

決められた容量より多いコーヒー豆 (120g)・コーヒー粉 (45g)・水 (650mL) を入れない。
湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因となります。

水タンクに水以外のものを入れない。
故障の原因となります。

使用中、水タンクをはずしたり、水タンクふたを開け、水を追加したりしない。
故障の原因となります。

豆タンクに挽き目調節ダイヤルと豆挽き部上部 (ミル上側) を取り付けない状態で、直接コーヒー豆を入れない。また、コーヒー豆以外の生豆やコーヒー粉などは絶対に入れない。
故障の原因となります。



ドリップケースにペーパーフィルターとコーヒー粉以外のものを入れない。
故障の原因となります。

「ドリップケース」、「ドリップケースふた」、「ガラスポット」なしで使用しない。
けが・やけど・水漏れ・故障の原因となります。

豆から淹れる場合は、必ずドリップケースの中にコーヒー粉がないことを確認した上、動作させる。
湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因となります。

水なしで空運転、ミルの連続運転をしない。
故障の原因となります。

コーヒー抽出中や抽出直後にドリップケースを開けない。
蒸気が吹き出してやけどの原因となります。

本体以外の水洗いできる部分は、熱湯をかけたり、食器洗浄機・食器乾燥機など使用しない。
変色・変形・劣化や破損などの原因となります。耐熱温度は各容器・各部品によって異なりますが 40°C 以上のお湯でお手入れすることはやめてください。



持ち運びや豆挽き部の内部煮沸洗浄以外のお手入れは、電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてから行う。
火災・やけどの原因となります。

使用後は十分にお手入れして乾燥させる。
使用後そのままにしておくと、カビやサビなどの原因となります。

電源コードが通行や動作の妨げになるような場所で使用しない。
電源コードが引っ掛かり、製品が落下して、けがや故障の原因となります。

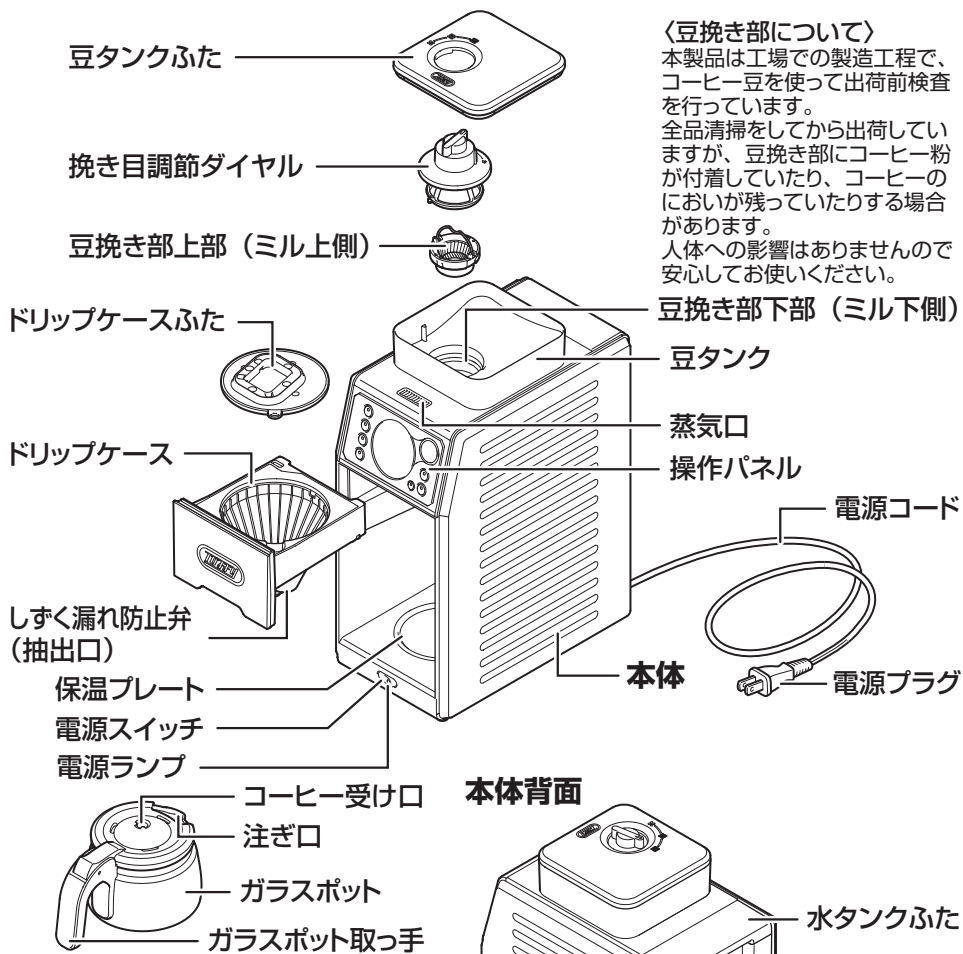


注意

使用上のご注意

- **本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。**
火災や故障の原因となります。
- **壁や家具の近くで使用しないでください。**
熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因となります。
- **不安定な場所や熱・水気・振動に弱いところで使用しないでください。**
けがや火災の原因となります。
- **決められた容量より多いコーヒー豆（120g）・コーヒー粉（45g）・水（650mL）を入れないでください。**
湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因となります。
- **水タンクに水以外のものを入れないでください。**
故障の原因となります。
- **豆タンクに挽き目調節ダイヤルと豆挽き部上部（ミル上側）を取り付けない状態で、直接コーヒー豆を入れないでください。また、生豆やコーヒー粉などは絶対に入れないでください。**
湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因となります。
- **ドリップケースにペーパーフィルターとコーヒー粉以外のものを入れないでください。**
故障の原因となります。
- **豆から淹れる場合は、必ずドリップケースの中にコーヒー粉がないことを確認してから動作させてください。**
湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因となります。
- **コーヒー抽出中や抽出直後にドリップケースを開けないでください。**
蒸気が吹き出てやけどの原因となります。
- **「ドリップケース」、「ドリップケースふた」、「ガラスポット」なしで使用しないでください。**
けが・やけど・水漏れ・故障の原因となります。
- **連続使用する場合は5分以上休ませてから再度ご使用ください。**
本体が熱いうちに水タンクに水を入れたり、本体を動かしたりすると、蒸気や熱湯が吹き出して故障ややけどの原因となります。
- **ガラスポットのコーヒーが1杯未満の場合は保温しないでください。**
コーヒーが蒸発して空焚きとなりガラスポットの割れ、故障の原因となります。
- **ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、お手入れをこまめにしてください。**
本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因となります。
- **使用後は十分にお手入れして乾燥させてください。**
使用後そのままにしておくと、カビやサビなどの原因となります。

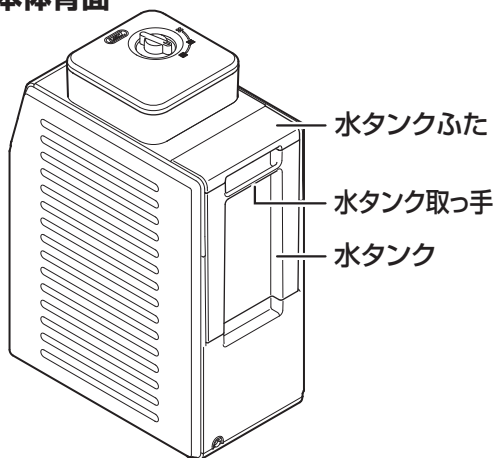
各部の名称



〈豆挽き部について〉

本製品は工場での製造工程で、コーヒー豆を使って出荷前検査を行っています。
 全品清掃をしてから出荷していますが、豆挽き部にコーヒー粉が付着していたり、コーヒーのにおいが残っていたりする場合があります。
 人体への影響はありませんので安心してお使いください。

本体背面



付属品

ペーパーフィルター（5枚）

※2～4杯用です。

市販品をご使用するときには

「2～4杯用」のものをご使用ください。

サイズ：（1×2）または（102）

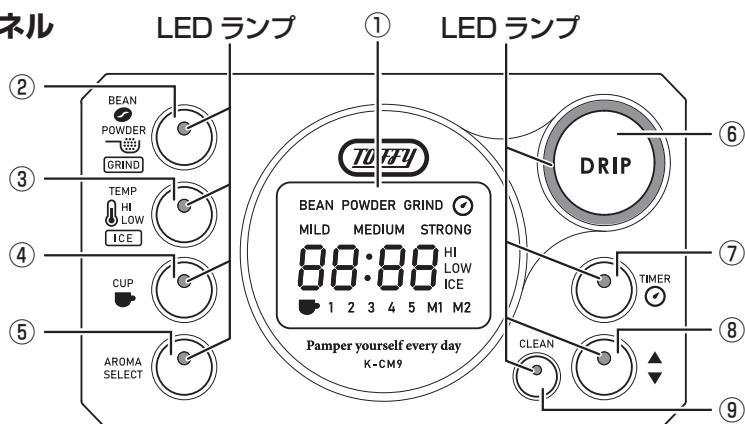
計量スプーン

※コーヒー粉専用です。

（すり切り1杯：約6g）

掃除用ブラシ

操作パネル



No.	名称	機能
①	ディスプレイ	各種操作ボタンと連動して設定内容をアイコンで表示します。またタイマーの残り時間やエラー番号などを表示します。
②	モードボタン	ボタンを押して操作モードを設定します。 BEAN：豆から挽いてコーヒーを淹れる場合 POWDER：粉からコーヒーを淹れる場合 GRIND：豆挽きのみ行う場合（ミル）
③	抽出温度調節ボタン	ボタンを押してコーヒーの抽出温度を設定します。 HI：約 90℃（保温機能あり）、LOW：約 83℃（保温機能あり）、 ICE：アイスコーヒーを作る場合（保温機能なし）
④	杯数ボタン	ボタンを押してコーヒーの杯数を設定します。
⑤	アロマボタン	ボタンを押してコーヒーの味わいを設定します。 MILD：連続抽出、MEDIUM：蒸らしながら間欠抽出。 STRONG：蒸らしながらゆっくり間欠抽出。
⑥	ドリップボタン	コーヒーの抽出や豆を挽く動作を開始します。動作中は LED ランプがオレンジ色で点滅し、動作完了後は点灯に切り替わります。コーヒー抽出後の自動保温中は再度ボタンを押すと保温を解除し、LED ランプが消灯します。
⑦	タイマーボタン	コーヒーの抽出や豆を挽く完了時間をタイマーで予約します。ボタンを押すごとに時 / 分が切り替わります。タイマー予約後、ボタンを 1 回押すと動作完了までの残り時間が表示されます。2 回押すとタイマーを解除することができます。
⑧	▲▼ボタン	タイマーの予約時間を設定します。ボタンを押すごとに時 / 分の数値が増えます。長押しすることで数値を早く切り替えることができます。
⑨	クリーニングボタン	ボタンを押してクリーニングモードを設定します。C1、C2、C3 の 3 つのモードから選択します。モードはディスプレイに表示されます。

使用前の準備

設置

本体を安定した熱に強い台の上などに設置してください。

熱や蒸気を発生するため、熱に弱いものからは十分に距離をおいて設置してください。

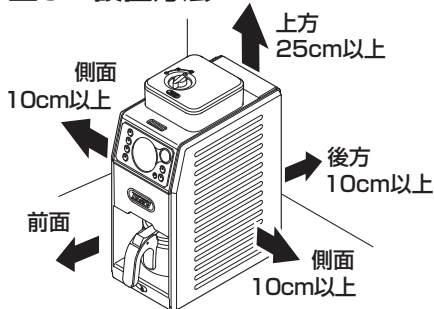
傾いた状態では転倒防止機能が働いて電源が入りません。

- 右図はあくまで目安であり、熱や蒸気に弱いものなどはより離れた場所に置かれることをおすすめします。
- 本体付近には携帯電話、パソコンなど湿気に弱い電子機器、精密機器は絶対に置かないでください。
- 豆タンクふたとドリップケースを開けるため、前面および上方は開放しておいてください。

⚠ 注意

電源コードは本体の下を通さないように、束ねたまま・巻きつけたまま使用しないように十分注意してください。

正しい設置方法



壁や家具から十分距離を置いて設置してください。
前面および上方は開放するように設置してください。

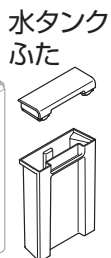
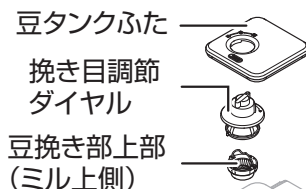
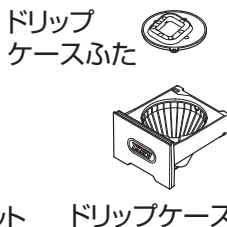
- ・上の図よりも近い場所に壁や家具などを置くと、本製品の熱によって変形や変色をする原因となります(上の図はあくまで目安です)。
- ・電源コードは、本体の下を通したり、温度の高くなる部分に近づけないでください。
- ・本体の上や下に燃えやすいものを置いたり敷いたりしないでください。

初めての使用时

初めて使用するときや長い間使用していないときは、次のように洗浄してください。

1 図の各パーツをすべて水洗いして乾燥させてください。

- 挽き目調節ダイヤルと豆挽き上部を取りはずしてください。(10、11ページ参照)
- ガラスポットを取り出してから行ってください。
- 水タンクは持ち上げることにより、取りはずすことができます。
- ドリップケースは手前に引っ張ることにより、取りはずすことができます。





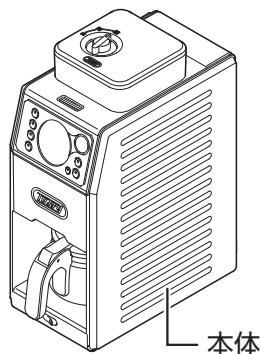
警告

本体を水につけたり、水をかけたりしない。
火災・ショート・感電の原因となります。

2 乾燥した各パーツ(計量スプーン以外)を本体に取り付けてください。

正しく取り付けられていないと動作中水漏れするおそれがあります。

- 水タンクは水タンクふたを取り付け、しっかり本体に押し込んで取り付けてください。
- 豆挽き部上部と挽き目調節ダイヤルを取り付けた後、豆タンクふたを取り付けてください。(10 ページ参照)
- ドリップケースふたをドリップケースに取り付け、ドリップケースは本体の奥までしっかり入れてください。
- ガラスポットを保温プレートの上にセットしてください。



3 内部煮沸洗浄を2回行ってください。

本体内部煮沸洗浄方法は 21 ページ「C2: 内部煮沸洗浄をする場合」を参照してください。

プラスチック特有のにおいがする場合は

使いはじめのうちは、本体のプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがすることがあります。お使いになるうちに少なくなります。気になる場合は 2 ~ 3 回水だけでドリップしてからお使いください。それでも気になる場合は、クエン酸洗浄を行ってください。(22 ページ参照)

部品の取り付け・取りはずし



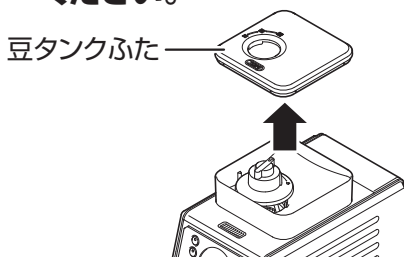
注意

- 部品の取り付けや取りはずしをする際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・ショート・やけど・火災の原因となります。
- 使用後は、十分に温度が下がってから部品を取りはずしてください。
やけどの原因となります。
- 豆挽き部の刃に触れないでください。
けがの原因となります。

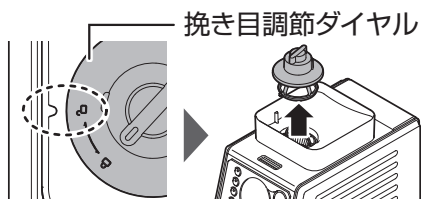
豆タンクふた・挽き目調節ダイヤル

取りはずしかた

- 1** 豆タンクふたを持ち上げてください。

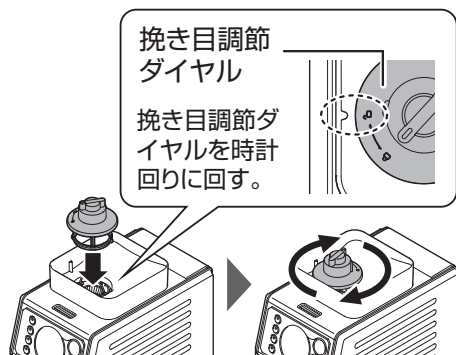


- 2** 挽き目調節ダイヤルを回し豆タンクの突起と凸を合わせ、持ち上げてください。

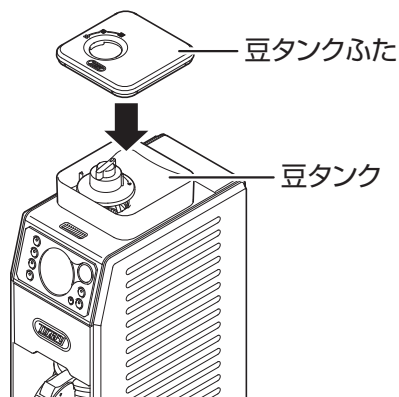


取り付けかた

- 1** 豆タンクの突起と凸を合わせてはめ込み、時計回りに止まるまで回してください。



- 2** 豆タンクふたを豆タンクに取り付けてください。



豆挽き部上部（ミル上側）

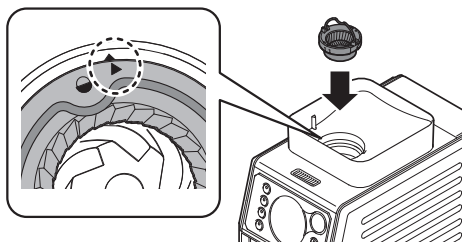
取りはずしかた

- 1 豆タンクふたと挽き目調節ダイヤルを取りはずしてください。（10ページ参照）
- 2 豆挽き部上部の取っ手を持ちながら、本体の▲と豆挽き部上部の▲が合うまで回し、持ち上げてください。

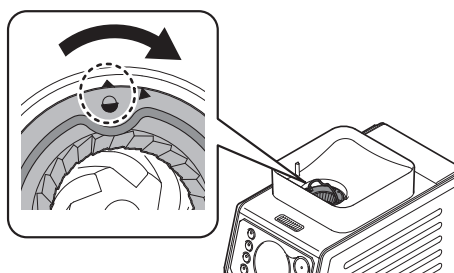


取り付けかた

- 1 豆挽き部上部の取っ手を持ちながら、本体の▲と豆挽き部上部の▲が合う位置にセットしてください。



- 2 豆挽き部上部の取っ手を持ちながら、豆挽き部上部の●を本体の▲にカチッと音がするまで回してください。取っ手を軽く引っ張って、豆挽き部上部が抜けないことを確認してください。

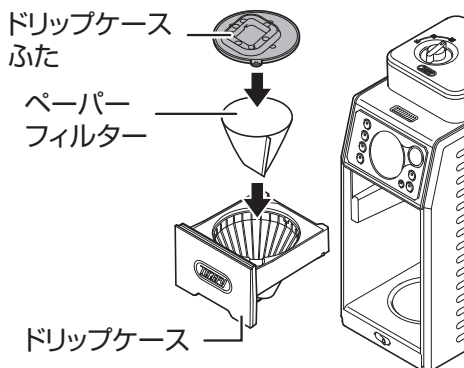


使い方

コーヒーを淹れる / 豆を挽く準備

1 ペーパーフィルターを取り付けてください。

- ① ドリップケースを引き出します。
- ② ドリップケースふたを取りはずし、ペーパーフィルターをドリップケースに取り付けます。
- ③ ドリップケースふたを取り付け、ドリップケースを本体の奥までしっかり入れます。



注意

ペーパーフィルターを必ず取り付けてください。

取り付けないと、ドリップ時にコーヒーが流れ出し、やけどや故障の原因となります。

ペーパーフィルターの折りかた

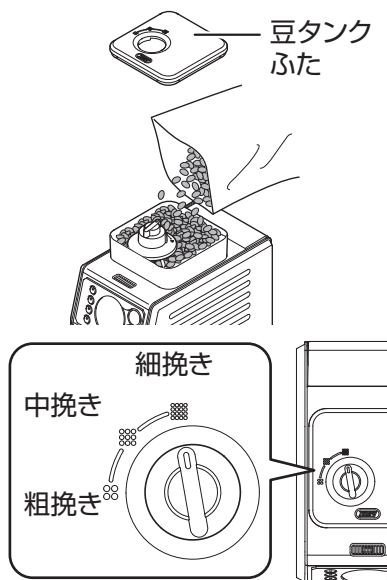
2～4杯用のサイズのペーパーフィルターを使用できます。
サイズ:(1×2) または (102)



2 コーヒー豆またはコーヒー粉を入れてください。

コーヒー豆の場合

- ① 豆タンクふたを持ち上げて取りはずします。
- ② 豆タンクにコーヒー豆を入れます。コーヒー豆はコーヒーを淹れるたびに量って入れる必要がなく、120gまで入れておくことが可能です。
※ 使用する豆の量は選択した杯数に応じて自動投入します。
- ③ 豆タンクふたを取り付けます。(10 ページ参照)
- ④ 挽き目調節ダイヤルを回し、挽き目の粗さを設定します。



⚠ 注意

- コーヒー豆は、最大容量（120g）より多く入れないでください。多く入れすぎると、コーヒー豆が挽ききれず、故障の原因となります。
- コーヒー豆以外を豆タンクに入れしないでください。故障の原因となります。
- 挽き目調節ダイヤルと豆挽き部上部なしで、コーヒー豆を直接豆タンクに入れしないでください。
- 湿ったコーヒー豆や生豆を使用しないでください。故障の原因となります。
- 必ずドリップケースの中にコーヒー粉がないことを確認してください。湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出し、やけどや故障の原因となります。

コーヒー粉の場合

- ① 取り付けたペーパーフィルターにコーヒー粉を入れます。
- ② ドリップケースふたを取り付け、ドリップケースを本体の奥までしっかり入れます。



コーヒー粉の使用量の目安

付属の計量スプーンは、すりきり1杯が約6gです。

※ コーヒー粉の量はお好みにより調節してください。

<ホットコーヒー>

杯数	粉の量
1	約 12g
2	約 18g
3	約 24g
4	約 30g
5	約 36g

<マグカップ>

杯数	粉の量
M1	約 15g
M2	約 24g

<アイスコーヒー>

杯数	粉の量
2	約 18g
3	約 24g
4	約 30g

⚠ 注意

- コーヒー粉は、最大容量（45g）より多く入れないでください。湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出し、やけどや故障の原因となります。
- コーヒー粉以外をペーパーフィルターに入れしないでください。故障の原因となります。
- コーヒー粉は豆タンクに絶対に入れしないでください。故障の原因となります。

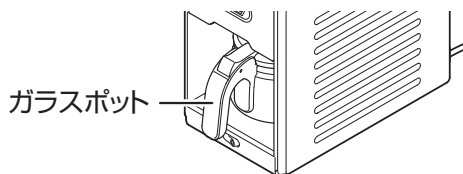
使い方 (続き)

3 ガラスポットを保温プレートの上にセットしてください。

⚠ 警告

「ドリップケース」、「ドリップケースふた」、「ガラスポット」なしで使用しないでください。

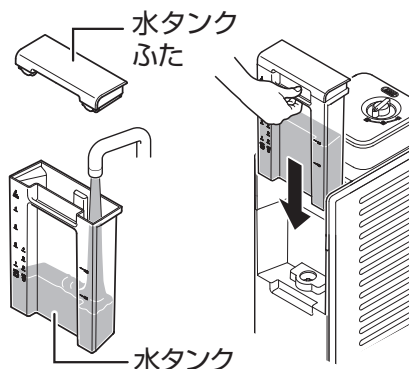
けが・やけど・水漏れ・故障の原因となります。



4 水タンクを取りはずして水を入れ、しっかり本体に押し込み、取り付けてください。

水タンクを本体に取り付けた状態で、水を入れないでください。本体内部に水が流れ込むため、規定量より多く水が入ります。

※使用する水量は選択した杯数に応じて抽出するため、抽出後も水タンクに水が残る場合があります。



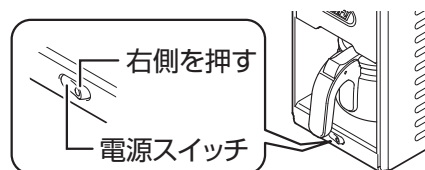
⚠ 注意

- 40℃以上のお湯は入れないでください。
- 最大容量 (650mL) より多くの水は入れないでください。
ガラスポットからコーヒーがあふれる原因となります。
- 最低目盛 (130mL) 以上の水を入れてください。
空焚きすると、故障の原因となります。

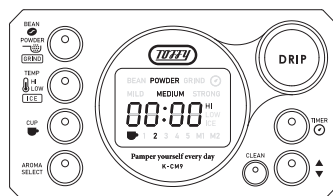
5 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチの右側を押してください。

電源ランプが点灯し、操作パネルが点灯します。すでにお使いの場合は、前回使用した設定がディスプレイに表示されます。

- 「コーヒーを淹れる / 豆を挽く準備」ができていて、前回使用した設定であれば、17 ページ「すぐを開始」または19 ページ「タイマー予約」へ。



(例)



コーヒーを淹れる / 豆を挽く設定

「コーヒーを淹れる / 豆を挽く準備」ができた後は、モードボタンを押してください。各種設定を行っている際は、設定中のボタンのLEDランプが点滅します。設定が決まりましたら、LEDランプが点灯しているボタンを押して順番に設定操作を行っていきます。

・設定により、所要時間とコーヒーのでき上がり量は異なります。

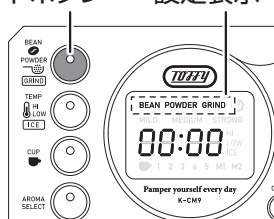
操作モードの設定【モードボタン】

1 モードボタンを押し、BEAN、POWDER、GRINDから実行するモードを選択してください。

押すたびに BEAN、POWDER、GRIND の順にモードが切り替わります。選択している設定はディスプレイに表示されます。

- BEAN、POWDER 選択：次は抽出温度調節ボタンへ。
GRIND（ミル）選択：次は杯数ボタンへ。

モードボタン 設定表示



設定	内容
BEAN	豆から挽いてコーヒーを淹れる場合。
POWDER	粉からコーヒーを淹れる場合。
GRIND	豆挽きのみ行う場合（ミル）

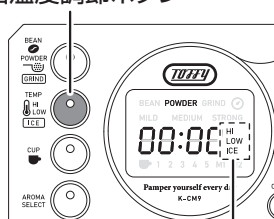
抽出温度の設定【抽出温度調節ボタン】（※コーヒーを淹れる場合のみ）

2 抽出温度調節ボタンを押し、コーヒーを抽出する際の温度を選択してください。

押すたびに HI、LOW、ICE の順に温度設定が切り替わります。選択している設定はディスプレイに表示されます。
※室温が低い場合やコーヒー豆を冷蔵保存している場合は抽出されたコーヒーの温度が低くなる場合があります。その場合はコーヒー豆を室温にし、ガラスポットやコーヒーカップをあらかじめ温めてください。

- 選択したら、次は杯数ボタンへ。

抽出温度調節ボタン



設定表示

設定	内容
HI	約 90℃でコーヒーを抽出。（抽出後 30 分間保温機能あり）
LOW	約 83℃でコーヒーを抽出。（抽出後 30 分間保温機能あり）
ICE	アイスコーヒーを作る場合。（保温機能なし） ※アイスコーヒーを作る場合は抽出後、氷を入れたグラスにコーヒーを注いでください。あらかじめグラスを冷やしておくことより美味しくお召し上がりいただけます。

使い方 (続き)

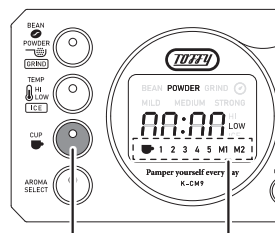
杯数の設定【杯数ボタン】

3 杯数ボタンを押し、コーヒーを抽出する杯数またはミルの杯数を選択してください。

押すたびに杯数が切り替わります。選択している設定はディスプレイに表示されます。

※選択した杯数にあわせて豆を挽く時間が設定されています。そのため、豆タンクに入っている豆の量や豆の大きさなどによってコーヒーのでき上がり量や挽くコーヒー粉の量が変わることがあります。

- BEAN、POWDER 選択：次はアロマボタンへ。
- GRIND (ミル) 選択：次はドリップボタンまたはタイマーボタンへ。



杯数ボタン 設定表示

設定	BEAN、POWDER コーヒーのでき上がり量 (目安)	GRIND 挽くコーヒー粉の量 (目安)
1	約 120mL	約 12g
2	約 240mL	約 18g
3	約 360mL	約 24g
4	約 480mL	約 30g
5	約 600mL	約 36g
M1 (マグカップ)	約 175mL	約 15g
M2 (マグカップ)	約 360mL	約 24g
アイス 2	約 120mL	
アイス 3	約 175mL	
アイス 4	約 240mL	

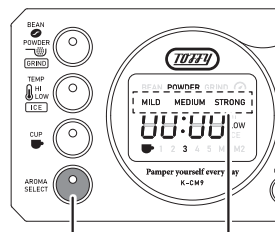
アロマ (味わい) の設定【アロマボタン】 (※コーヒーを淹れる場合のみ)

4 アロマボタンを押し、アロマ (味わい) の設定を選択してください。

押すたびに MILD、MEDIUM、STRONG の順にアロマの設定が切り替わります。

間欠抽出の有無や時間の差で、コーヒーの味わいに違いを出します。選択している設定はディスプレイに表示されます。

- 選択したら、次はドリップボタンまたはタイマーボタンへ。
すぐに抽出を開始する場合は、ドリップボタンを押します。
動作完了までの時間を設定する場合は、タイマーボタンを押します。



アロマボタン 設定表示

設定	内容
MILD	蒸らし機能なし。
MEDIUM	蒸らしながら間欠抽出。
STRONG	蒸らしながらゆっくり間欠抽出。

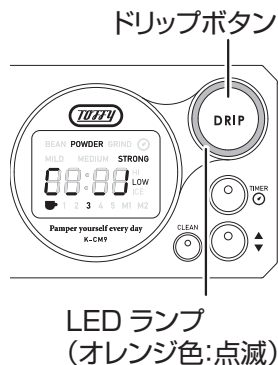
コーヒーを淹れる / 豆を挽く（すぐに開始）

コーヒーを淹れる / 豆を挽く準備と設定が完了している場合は、ドリップボタンを押すとすぐに動作を開始します。

1 コーヒーの抽出/豆を挽く動作をすぐに開始する場合は、ドリップボタンを押してください。

動作中はドリップボタンの LED ランプが点滅（オレンジ色）し、ディスプレイに「00:00」が回転表示します。

- 動作の途中でコーヒーがこぼれたり、あふれたりなど異常があった場合はドリップボタンを長押しして、強制停止してください。（本体が冷めてからお手入れしてください）
- ※ コーヒー豆を挽いているとき、大きな音がしますが、異常ではありません。

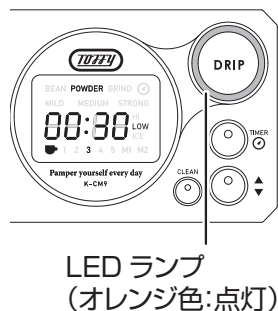


警告

コーヒー抽出中・抽出直後、蒸気が発生するため、ドリップケースを開けたり本体上部・蒸気口周辺に手や顔を近づけたりしないでください。やけどの原因となります。

2 動作が終了すると、ブザーが鳴ります。

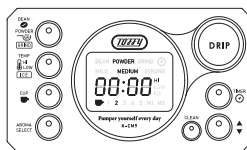
- BEAN, POWDER 選択時、ドリップボタンの LED ランプ（オレンジ色）が点灯し、保温を開始し、ディスプレイに保温の残り時間が表示されます。（保温は抽出後から約 30 分後に自動で OFF になり、待機モードに切り替わります。）
- GRIND（ミル）選択時、ドリップボタンの LED ランプが消灯し、待機モードに切り替わります。
- 保温中、保温を解除する場合は、ドリップボタンを押してください。
- 保温のみを行う機能はありません。
- 長時間保温するとコーヒーの風味が損なわれます。なるべく早めにお召上がりください。



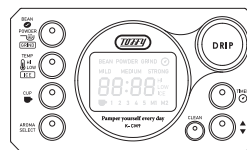
待機モードとスリープモードについて

保温終了時やミルの動作終了時、設定中に約 30 秒間操作しないと待機モードになり、前回使用した設定がディスプレイに表示されます。5 分間操作をしないとスリープモードになり、ディスプレイが全て消灯します。スリープモードになっている場合には、いずれかのボタンを押すとディスプレイが点灯し、待機モードになり、再操作することができます。

待機モード (例)



スリープモード



使い方 (続き)

注意

- 残ったコーヒーを保温プレート上に長時間放置しないでください。コーヒーが蒸発して煮詰まっていき、空だきになると、火災・故障の原因となります。
- ガラスポットのコーヒーが1杯未満の場合は保温しないでください。コーヒーが蒸発して空焚きとなりガラスポットの割れ、故障の原因となります。

- 3** コーヒーが抽出し終わったことを確認してからガラスポットをゆっくり抜き、カップに注いでください。
GRIND(ミル)を選択した場合は、ドリップケースから挽いた豆を取り出してください。

連続使用する場合のご注意

- ・ 使用後、5分以上たってから再度ご使用ください。
- ・ 抽出ごとにペーパーフィルターを捨て、ペーパーフィルターや粉を新しいものに入れ替えてください。
- ・ 水タンクの水量を確認してください。本製品は選択した杯数分だけ抽出できるため、抽出後も水タンクに水が残る場合があります。水の残量をご確認いただき、選択する杯数に応じて水を追加し、ご使用ください。

注意

- 抽出直後のガラスポットは高温になっているため、必ず取っ手を持ち、ガラス部分には触らないように注意してください。やけどの原因となります。
- ガラスポットの受け口や注ぎ口からは蒸気が出ます。やけどに注意してください。

- 4** 使用を終了するときは、ドリップケースを本体から取り出し、電源スイッチの左側を押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

- 電源プラグをコンセントに差し込んだままにしないでください。差し込んだままにしておくと、火災の原因となります。

コーヒーを淹れる / 豆を挽く（タイマー予約）

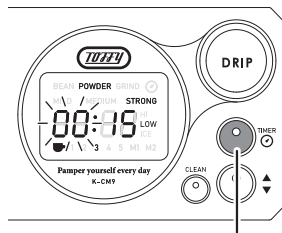
コーヒーを淹れる / 豆を挽く準備と設定が完了している場合は、タイマーボタンを押すことで動作が完了する時間を設定することができます。

※ GRIND（ミル）を選択した場合は杯数の設定まで操作を行っておきます。

1 タイマーボタンを押してください。

ディスプレイに 00:15 が表示され、時の表示が点滅します。

※ 5 秒以上操作しなかった際は、元のディスプレイ画面に戻ります。その場合は、再度タイマーボタンを押してください。



タイマーボタン

2 ▲▼ボタンを押し、動作が完了する時間を設定してください。

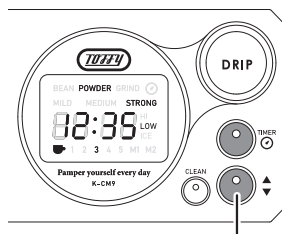
● タイマーボタンを押すたびに時 / 分が切り替わります。

● ▲▼ボタンを押し、時 / 分の数値を設定します。長押しすることで数値を早く切り替えることができます。

時：1 時間単位で数値が増えていきます。

分：5 分単位で数値が増えていきます。

※ タイマー予約は、最大で 24 時間、最小で 15 分間の設定が可能です。



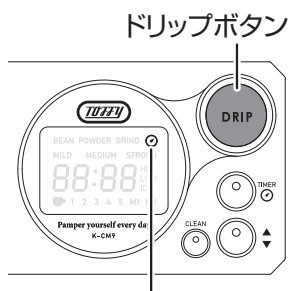
▲▼ボタン

3 ドリップボタンを押し、タイマー予約を開始します。

設定後はタイマーアイコンが点灯し、ディスプレイに動作完了までの残り時間が表示されます。タイマー開始から 5 分経過するとタイマーアイコンのみの点灯になります。

● 動作完了までの残り時間を確認したい時は、操作パネルのいずれかのボタンを押してください。

● タイマー予約を解除する場合は、再度タイマーボタンを押してください。



タイマーアイコン

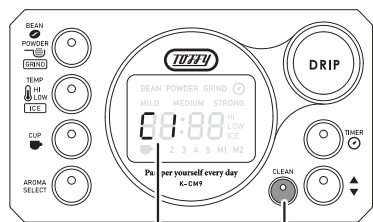
クリーニングモード

クリーニングモードにはお手入れをサポートする3つのモードがあります。
操作パネルのクリーニングボタンを押すことでモード選択します。

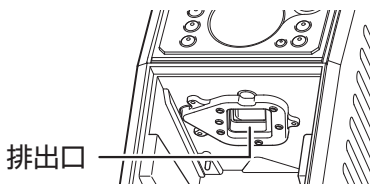
クリーニングボタンを押すたびにモードが切り替わります。選択しているモードはディスプレイに表示されます。

選択モード	内容
C1	本体排出口のお手入れをする場合。
C2	本体内部の煮沸洗浄や水タンクの洗浄をする場合。
C3	豆挽き部内部のお手入れをする場合。(空運転)

※ 20回使用ごとに各モードを1回お手入れすることをおすすめします。



選択モード クリーニングボタン



C1：本体の排出口をお手入れする場合

本体操作部下側の排出口には、コーヒー抽出中にはねたコーヒー粉が付着します。定期的に清掃をしてください。排出口に粉が付着したままコーヒーを抽出すると、お湯の出が悪くなり、ドリップケースのペーパーフィルター内のコーヒー粉が部分的に湿らないおそれがあります。

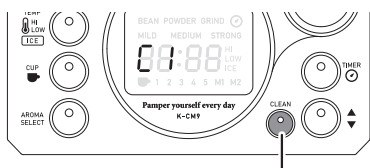
1 下記クリーニング準備を行ってください。

- ガラスポットを取りはずします。
- ドリップケースを取りはずします。
- 保温プレートの上にキッチンペーパーを敷きます。
- 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。



2 クリーニングボタンを押し、ディスプレイにC1が表示されます。

※動作中（コーヒーを淹れる / 豆を挽く）豆が排出口に詰まったら、ディスプレイにC1が表示されます。21ページの手順4から5までの操作を行ってください。

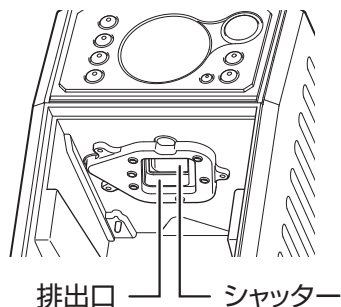


クリーニングボタン
(1回)

- 3** ドリップボタンを押してください。
本体操作部下側のシャッターが開きます。
ドリップボタンのLEDランプが点滅（オレンジ色）します。

- 4** 掃除用ブラシを使い、排出口を清掃してください。

- 5** お手入れ後は、再度ドリップボタンを押してください。
- シャッターが閉じます。
 - 落ちた粉や破片を包み、保温プレートの上に敷いたキッチンペーパーを捨ててください。



C2：内部煮沸洗浄をする場合

初めて使用するときや長い間使用していないときは、内部煮沸洗浄を行ってください。

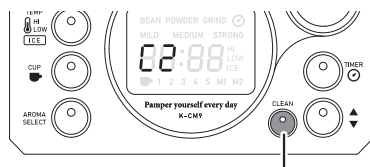
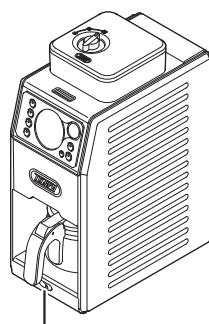
- 1** 水タンクにMAX(650mL)まで水を入れて本体にセットします。

- 水タンクは本体に取り付けた状態で、水を入れないでください。
- 水タンクふたを必ず取り付けてください。

- 2** 下記クリーニング準備を行ってください。

- ドリップケースふた、ドリップケースを本体にセットします。
- ガラスポットを保温プレートにセットします。
- 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

- 3** クリーニングボタンを2回押し、C2が表示されます。



クリーニングボタン
(2回)

クリーニングモード (続き)

- 4** ドリップボタンを押してください。
内部煮沸洗浄が開始されます。洗浄が終了するとドリップボタンのLEDランプが消灯し、待機モードに切り替わります。
- 5** ガラスポットに排出されたお湯を捨て、ドリップケースのお手入れを行ってください。(23ページ参照)

本体内部、水タンクをクエン酸洗浄する場合

お湯の出が悪くなり、ドリップに時間がかかるようになった場合はクエン酸洗浄を行ってください。また使っているうちに、水に含まれるカルキ成分等が内部に付着します。故障の原因となるため、定期的に行ってください。

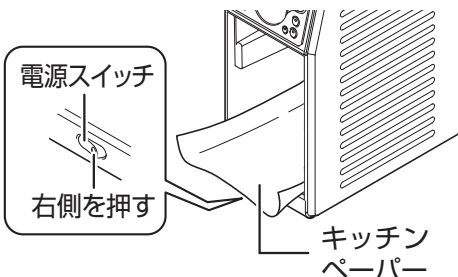
- 1** 水タンクにMAX(650mL)まで水を入れ、小さじ一杯(約5g)のクエン酸を入れてよく混ぜます。
- 2** 21ページ「C2:内部煮沸洗浄をする場合」手順2から手順5までの操作を行ってください。
- 3** クエン酸洗浄後はクエン酸のにおいを取るために、内部煮沸洗浄を2~3回繰り返してください。

C3:豆挽き部内部をお手入れする場合 (空運転)

空運転を約 10 秒行い、豆挽き部内部に溜まったコーヒー粉や破片を落とします。

- 1** 下記クリーニング準備を行ってください。

- 豆挽き部上部と挽き目調節ダイヤルを取り付けていることを確認し、豆タンクふたを取り付けます。
- ガラスポットを取りはずします。
- ドリップケースを取りはずします。
- 保温プレートの上にキッチンペーパーを敷きます。
- 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。



- 2** クリーニングボタンを3回押し、C3が表示されます。

- 3** ドリップボタンを押してください。
 - 空運転が開始されます。
 - 落ちたコーヒー粉や破片を包み、キッチンペーパーを捨ててください。



クリーニングボタン
(3回)

お手入れのしかた

安全にお使いいただくために、ご使用ごとにお手入れしてください。

警告

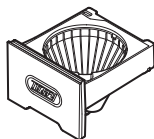
- クリーニングモード以外のお手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・ショート・やけど・火災の原因となります。
- 十分に温度が下がってからお手入れをしてください。
やけどの原因となります。
- 本製品のお手入れにシンナーやベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使用しないでください。
- 本体は防水加工など施していませんので、お手入れをするのに、直接水につけたり、水をかけたりしないでください。
感電・ショート・火災の原因となります。

ご使用ごとのお手入れ

- ドリップ済みのコーヒー粉が入ったペーパーフィルターを捨て、ドリップケースふた、ドリップケースを水洗いしてください。
- ガラスポットを水洗いしてください。



ドリップケースふた



ドリップケース

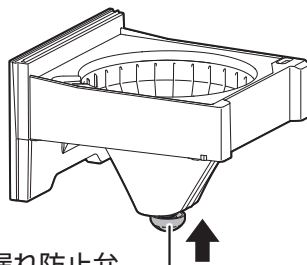


ガラスポット

しずく漏れ防止弁（抽出口）のお手入れ

しずく漏れ防止弁（抽出口）にコーヒー粉が詰まると、弁が閉まらずにコーヒーが漏れることがあります。本製品を使用するたびに、しずく漏れ防止弁（抽出口）を必ず洗ってください。ドリップケースに水をためてから、しずく漏れ防止弁（抽出口）を2～3回押し上げ、汚れを洗い流します。

しずく漏れ防止弁（抽出口）を強く引っ張ると、はずれることがあるのでご注意ください。



しずく漏れ防止弁
（抽出口）

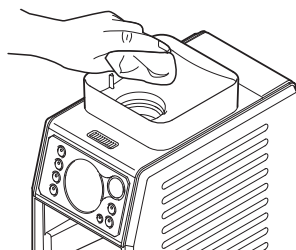
お手入れのしかた (続き)

本体外部・豆タンク内・保温プレート・水洗いできるパーツのお手入れ

本体外部、豆タンク内、保温プレートのお手入れ

本体外部、豆タンク内、保温プレートの汚れはかたくしぼったふきんできれいに水拭きしてください。長時間汚れたままにしておくと、汚れが取れなくなることがあります。

- 本体外部、保温プレートの汚れがひどい場合は、食器用中性洗剤を溶かした水にふきんなどをひたして固く絞り、拭き取ってください。



水洗いできるパーツのお手入れ

下図の各パーツはすべて取りはずし、水ですすぎ洗いしてください。

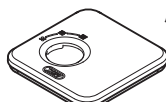
汚れがひどい場合は、中性洗剤を水またはぬるま湯で薄め、柔らかいスポンジを使用して軽く洗い、水ですすぎ洗いをしてください。その後、乾いた布で水分を拭き取り、よく乾燥させてください。

⚠ 注意

- 食器洗い機・食器乾燥機は使わないでください。変形の原因となります。
- 豆挽き部上部を十分乾燥させてください。サビの原因となります。

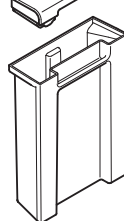


豆挽き部上部



豆タンクふた

水タンク
ふた



水タンク



計量スプーン



挽き目調節ダイヤル

豆挽き部下部のお手入れ

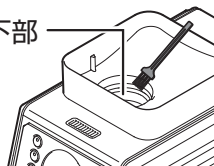
⚠ 注意

豆挽き部内部は水洗いできません。サビの原因となります。

豆挽き部下部のお手入れ

豆挽き部上部を取りはずし、豆挽き部周辺の粉や破片を掃除用ブラシを使って豆挽き部内部へ掃き落とし、クリーニングモード C1 を行ってください。

豆挽き部下部



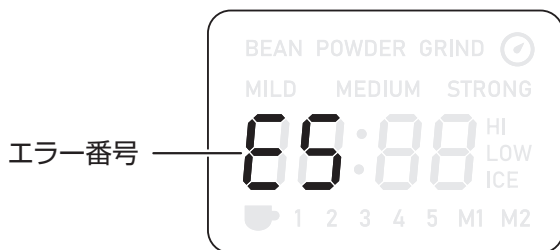
豆挽き部内部のお手入れ (空運転)

空運転を行って豆挽き部内部の粉や破片を落とします。22 ページ「C3: 豆挽き部内部をお手入れする場合 (空運転)」を参照して行ってください。

エラー表示の見かた

エラー表示

本体に異常があった場合、ブザーが鳴り、ディスプレイにエラー番号が表示されま
す。下表を確認し、適切な対応をしてください。



エラー番号	原因	対処方法
E1	水タンクが正しく取り付けられていない。または水タンクの水が足りない。	水タンクに水を入れてきちんと本体に押し込み、再度設定してください。
E2	ドリップケースが正しく取り付けられていない。	ドリップケースふたを取り付け、ドリップケースを本体の奥までしっかり入れ、再度設定してください。
E3	操作モードで BEAN または GRIND を選択したが、タンクに豆が入っていない。または豆が足りない。	豆タンクに豆を入れ、再度設定してください。
E4	本体が過熱している。	①本体の電源を切ってください。 ②約 5 分間休ませてから、水タンクに最低目盛以上の水が入っていることを確認してください。 ③再度設定してください。
E5	連続使用するとき、前回ドリップ済みのコーヒー粉が入ったペーパーフィルターを捨てていない。	ドリップ済みのコーヒー粉が入ったペーパーフィルターを捨て、ドリップケースふたとドリップケースを水洗いし、12 ページ手順 1 から行ってください。
上記以外の番号	その他の原因	一度電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。再度電源を入れても同じエラーを繰り返す場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。(27 ページ参照)

故障かなと思ったら

故障かなと思ったらときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない	電源プラグが正しくコンセントに取り付けられていない。	電源プラグとコンセントの接続を確認してください。
コーヒー豆が挽けない	湿ったコーヒー豆や生豆を使用している。	湿ったコーヒー豆や生豆は使用しないでください。
	豆挽き部上部や挽き目調節ダイヤルがぬれている。	乾いた布で水分を拭き取り、よく乾燥させてください。
	豆挽き部上部や挽き目調節ダイヤルが正しく豆タンクに取り付けられていない。	正しく取り付けてください。 → 10、11 ページ
ドリップケースからコーヒーがあふれる	ドリップケースに既に抽出済のペーパーフィルターやコーヒー粉が残っている。	抽出済のペーパーフィルターを捨て、ドリップケースやドリップケースふたのお手入れをしてください。 → 23 ページ
	しずく漏れ防止弁（抽出口）が詰まっている。	しずく漏れ防止弁（抽出口）のお手入れをしてください。 → 23 ページ
	コーヒー粉を入れ過ぎる。	適切な量を入れてください。 → 13 ページ
しずく漏れ防止弁（抽出口）からコーヒーが垂れてくる	ペーパーフィルターを取り付けていない。	ペーパーフィルターを取り付けてください。 → 12 ページ
コーヒーがガラスポットに落ちてこない	しずく漏れ防止弁（抽出口）にコーヒーの粉が詰まっている。	しずく漏れ防止弁（抽出口）をお手入れしてください。 → 23 ページ
	ガラスポットを正しく保温プレート上にのせていない。	ガラスポットを保温プレートに正しくのせないと、コーヒーが落ちてきません。ガラスポットのコーヒー受け口としずく漏れ防止弁（抽出口）を合わせて取り付けてください。
ガラスポットからコーヒーがあふれる	ガラスポットに既に抽出済のコーヒーや内部煮沸洗浄後のお湯が残っている。	ガラスポットを空にし、保温プレート上にのせてください。

こんなとき	原因	対処方法
ドリップが開始されない	水タンクに水が入っていない。	水タンクに水を入れてください。
抽出に時間がかかる	コーヒー粉を入れ過ぎている。	適切な量を入れてください。 → 13 ページ
	しずく漏れ防止弁（抽出口）が詰まっている。	しずく漏れ防止弁（抽出口）のお手入れをしてください。 → 23 ページ
	本体内部にカルキ等が付着している。	定期的にカルキ等の除去をしてください。 → 22 ページ
コーヒーの味が異常に薄い	豆タンクにあるコーヒー豆が足りない。	豆タンクに豆を入れてください。
	入れたコーヒー粉が少な過ぎる。	適切な量を入れてください。 → 13 ページ

長期間ご使用の全自動ミル付カスタムドリップコーヒーメーカーは定期的な点検をお願いします

- ・ 電源コードが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深い傷などがある。
- ・ 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- ・ そのほか異常や故障がある



このような症状が出た、発見したときには、すぐに使用を中止してください。

お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00~18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

個人情報のお取り扱いについて
株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

製品仕様

品名	Toffy 全自動ミル付カスタムドリップコーヒーメーカー		
品番	K-CM9		
本体寸法	約 170 (W) × 430 (H) × 325 (D) mm		
重量	約 4.6kg		
電源	AC100V 50-60Hz		
水タンク容量	650mL	電源コード長	約 0.8m
ミル方式	コーン式	コーヒーミル 最大容量	120g
定格消費電力	980W	抽出方式	ドリップ式
生産国	中国		
付属品	計量スプーン、掃除用ブラシ、ペーパーフィルター（5枚）、カンタン操作ガイド ユーザーズガイド（保証書含む）		

- ※ 商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。
- ※ この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- ※ 「Toffy」は(株)ラドンナ、(株)キングジムの登録商標です。

保証書

品名: Toffy 全自動ミル付カスタムドリップコーヒーメーカー K-CM9 保証期間: 本体お買い上げ日より 1年

お買い上げ日: _____ 年 _____ 月 _____ 日	
お客様: お名前	販売店名:
ご住所	
電話番号	

販売店様へお願い 保証書の空欄部分に販売店名、ご購入年月日をご記入くださいますようお願いいたします。

保証規定

- ユーザーズガイド・本体貼付ラベルの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店にご連絡ください。当社が無償にて修理いたします。
- ご購入後やご贈答品等で、本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼にならない場合には、本書記載のお客様ご相談窓口へご相談ください。
- 保証期間内でも、次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りや、お客様による修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用）に使用された場合の故障および損傷
 - (ホ) 本書の提示が無い場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合
 - (ト) 本体および本体同梱付属品の消耗・摩耗・損傷・紛失
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 修理内容は修理依頼等で代替させていただくことがあります。
- オークションなどによる転売や中古販売によって購入された商品については一切責任を負いかねますので予めご了承ください。
この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理のお約束をするものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
<アフターサービスについて>
 - 保証書: 保証書は、販売店名・お買い上げ年月日などの記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。また、保証規定の内容をよくご覧の上、大切に保管してください。
 - 修理に出されるときは: 保証期間中は、保証書に記載されている項目について、無償で修理いたします。ただし、本書に記載の、安全および使用に関する注意事項を無視した上での故障や破損、分解・改造を加えた場合などは、有償となる場合があります。また、保証期間を過ぎた場合も有償での修理となります。
 - 廃棄について: 本製品および梱包材の廃棄方法については、各自自治体の指示に従って行ってください。
 - お問い合わせ: アフターサービスについてご不明な点やご相談、お困りのときは、お買い上げいただいた販売店までお問い合わせください。